

1

1 校庭
2 発言
3 住まい

4 悪意
5 想定
6 使命

2

1 昔風
2 移車
3 力
2 ウ
3 工

4 別る
5 画家
(2 完答)

6 1 戦争中
2 ところ
3 その不

3

7 東ら
8 (記述題)
9 生きても
10 イ
(7 完答)

1 一のまれ
2 神鳴り
3 イ
(1 完答)

4 意味です
5 1 ウ
2 工
3 才
4 イ

6 おそれて
7 工
8 敬語

2

もしも、ぼくが
友だちにあずけていた
ら、スケッチブックが残るこ
ともなかった
でしょう。

(同意可)

配点	
1・2・3・3・5	各2点×13=26点
2・8	6点
その他	各4点×17=68点
〈計〉100点	

- 1 「学校の庭」ということだが、とくに屋外の運動場をさすことが多い。同音異義語が多いので注意してほしい。
- 2 ことばを出すこと。意見を言うこと。「発」の形、とくに「はつがしら」の部分を正確に書こう。
- 3 人が住むための家のこと。部首を「ぎょうにんべん」にしないように注意する。
- 4 他人に害をあたえようとする心のこと。「悪意に解釈する」のように、意地のわるい見方という意味で使うこともある。
- 5 たんに未来のことを思うという意味ではなく、状況や条件などを仮にきめることである。
- 6 あたえられた任務。責任をもって果たさなければならないという感じがふくまれる。これも同音異義語に注意。

2

※問題作成の都合上、一部表記を変更しています。

- 1 「レトロ？」と聞き返されて「昔風」と言ったら相手が気を悪くするかもしれない、と考えている。
- 2 【中略】の前で、「じりじりじりじりという音が聞こえた」ときに、「あたし、行かなくちゃ」と言って、「車のほうに向かって走っていった」とある。過去の時代から帰らなくてはいけない時間になったということだろう。この「車」は、本文の最後のほうで「移動図書館の車」と説明されていた。
- 3 1は、「ポニーテールを赤いリボンで結び、ストライプのブラウスを着ている少女の絵」が戦争中にはふさわしくないということである。「なよなよ」とは、態度や動きがやわらかくて、弱々しい感じを表す。2は、「戦争に行く」ということがそのまま「死」につながることから、おそれためらいながら物事をする様子を表す「おずおず」になる。これは「おそるおそる」と同じ意味である。3は、直前に「気持ちがあせて」とある。いらだたい気持ちがつのって落ち着かなくなる感じを表す「じりじり」があてはまる。
- 4 【中略】の前で文香の視点で書かれていたことが、後では良夫の視点で書かれていることに気づけば、後半部分に「出征する前に、ぼくは郷里にもどりました。両親に別れを告げるためです。」とあることに注目できるだろう。
- 5 前半で「画家になってください」と二回くり返しているし、後半にも「一度は、夢をあきらめたばかりでした。でも、戦争が終わってから、また勉強して、絵を描くことを仕事にできました」とある。
- 6 書かれている内容から見当はずだが、『未来からの伝言』は「です・ます体」で書かれており、それ以外の部分は「だ・である体」になっていることや、「ぼく」ということばが使われていることからわかるだろう。
- 7 直後の部分からも理由はわかるが、うまくあてはまる字数のところがない。そこで、やはり前半からさがしてみると、「東京大空襲」について書かれているところがあつた。
- 8 前の「スケッチブックをあずけようとした家は燃えた」という内容と、「だから」でつながる内容にする。「たら」を使うという条件から、前半は「スケッチブックをあずけたら」という内容にすればよい。後半は「スケッチブックも焼けた」という内容になる。
- 9 直後の「おおっぴらに口にすることができない言葉」は、文章前半の「そんなことを、大きな声で言ったらだめだ」と結びつく。そこで、「生きて。ぜったいに、生きて、もどってきてください！」があてはまりそうだが、「必ず」につづく二十字のことばという条件なので、さらに後のほうの「(必ず)生きてもどってきて、画家になってください」の部分が答えになる。
- 10 この後の内容は、「夢をあきらめずに画家になって、喜びに満ちた日々をすごせた」ということである。選択肢のそれぞれの最後のことばを見くらべるとよいだろう。

3

- 1 この部分のすぐ後に、「こうして、神様にお祈りすることば——『のりと』が生まれました」として、この部分をまとめていることを見ぬく。
- 2 「神様が空でおこって」大きな音を立てている、と考えたのである。ふつう「かみなり」は「雷」という漢字をあてるが、ことばの起りから言えば「神鳴り」だったということになる。
- 3 1は「そして」と「そこで」のどちらかはいりそうだが、2は「そこで」を入れたい。3は「のりと」を聞くとときの例をあげていることから「たとえば」がはいる。
- 4 「これから…お願いします」の部分は「のりと」の中身の説明なので、「」をつけるとうい。そうすると、「これは、『』という意味です」という形になることがわかるだろう。
- 5 1は、「世の中にはおにのように無情な人ばかりでなく、親切で人情にあつい人もいる」ということ。2は、「ふだんから準備をしておけば、いざというとき何も心配がない」ということ。3は、「有名なものや名物とされるものが、実際にはそれほど質が高くないことが多い」ということ。4は、「知識やちえをかんたんに手に入れることはできない」ということ。
- 6 「尊敬している気持ち」と並列されているのだから、すぐ前の「相手を尊敬する気持ちと同時に、おそれて遠ざけようとする気持ち」に注目すればよい。
- 7 「尊敬する」と「おそれて遠ざけようとする」に結びつくものを選ぶ。「他人行儀」とは、「親しい間がらのはずなのに、他人に対するように、よそよそしくふるまう」という意味である。
- 8 最後の段落で文章全体がまとめられている。このことを言うために「のりと」の話をしたのである。「のりと」には神様に対する敬意を表す言葉がはいつていた。